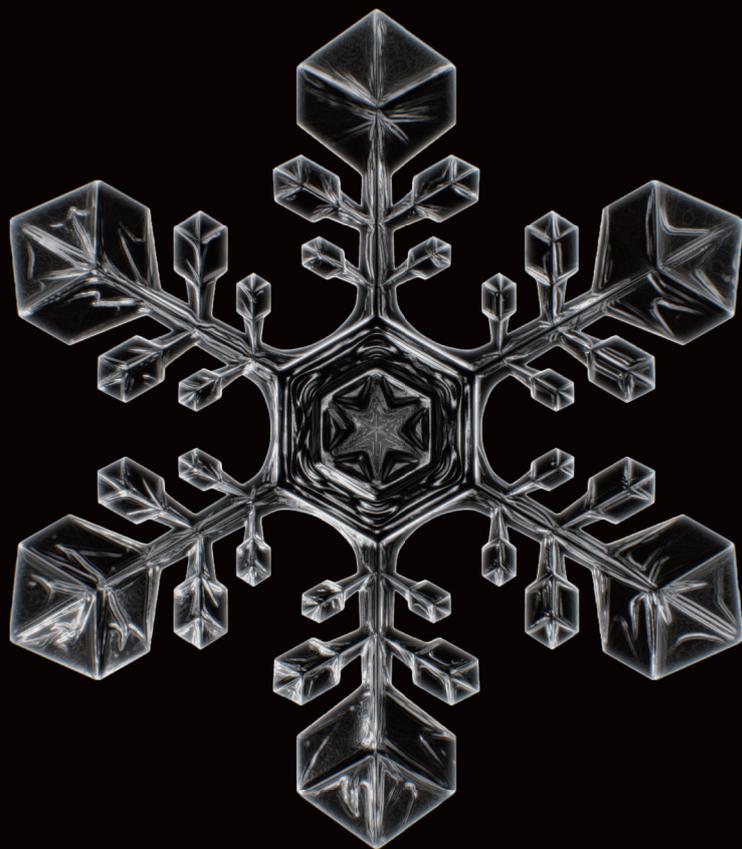


LAST SNOW



は
じ
ま
り
の
雪



札幌の冬が変わる 特別なアートイベント

札幌国際芸術祭 SIAF2024 1.20-2.25

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL
Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa

テーマ: LAST SNOW ラスト スノー サブテーマ: はじまりの雪 / Where the Future Begins / Upaste ウパステ

主催: 札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市 助成: 令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

Organizers: Sapporo International Art Festival Executive Committee / City of Sapporo Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan, Fiscal Year 2022 

SIAF2024 Director: OGAWA Hideaki Art Direction & Design: KUDO "wabi" Ryohel, SHIRAI Hiroaki Maru-san: OGAWA Emiko Snow Crystal Supervisor: FURUKAWA Yoshinori Snow Crystal 3D Modeling: SATO Atsushi

3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える特別なアートイベント

札幌市内6会場を中心に、国内外のアート作品やプロジェクトを通して未来を考える

初の冬開催となる札幌国際芸術祭2024(Sapporo International Art Festival 2024 略称:SIAF2024)の開幕まであと1年となりました。アート、テクノロジー、サイエンスが交差する新しい表現や先進的なアイデアを持つ作品・プロジェクトを紹介しながら、「LAST SNOW」というテーマのもとに未来を考えます。札幌市街・郊外にまたがる会場ごとにコンセプトを設定し、全体を通じて1924~2124年という、2024年を中心とした200年の時間軸を旅するようなプログラムを設計します。

→[展示企画詳細はP3](#)



エネス《エアシップ・オーケストラ》
Photo by Ben WEINSTEIN



チェ・ウラム《Custos Cavum》2011



宮田彩加《MRI SM20110908》2016-
Photo by TAKASHIMA Kiyotoshi



明和電機《オタマトーン》

※画像はSIAF2024に向けた各参加アーティストの参考作品です。

「3つのC」を目指して

- ・「創造エンジン／Engine for Creativity (=未来志向を生み出す仕掛け)」
 - ・「文化インフラ／Cultural Infrastructure (=未来を垣間見る体験を提供)」
 - ・「市民参加／Citizen Participation (=市民や企業の参画／社会のためのアート)」
- というCが含まれる3つのキーワードが、SIAF2024の在り方を示すビジョンです。それらを実現するための多彩なプログラムを展開します。

→[「3つのC」詳細はP2](#)



さっぽろ雪まつり



東1丁目劇場施設
Photo by TAKUMA Noriko



子どもから大人まで参加できる
プログラムを予定

いろいろ始まる!

SIAF2024先行プログラム

芸術祭では、約1年前から、子どもから大人まで誰でも参加できる先行プログラムを始めます。

新たな取り組み「SIAFスクール」では、多様な専門家を招いたレクチャーシリーズやボランティア研修への参加者を募集するほか、小中学生向けのワークショップも実施予定です。また、SIAF2024ディレクターと各会場の展覧会企画担当者や教育の現場で活動する関係者が語り合う2つのトークイベントを今週開催します。→[詳細はP4~5](#)

メッセージ



札幌国際芸術祭
実行委員会 会長
札幌市長 秋元克広

初の冬開催となる今回の芸術祭は、冬の風物詩である「さっぽろ雪まつり」を会場にするなど、この時季ならではの魅力や特徴を生かしていきます。市内6会場を中心に多彩な作品やプロジェクトを展開するほか、会期前から参加できるさまざまな体験をご用意します。鑑賞する場としての芸術祭ではなく、未来を語り、そして創造性を育むきっかけとなるような札幌国際芸術祭2024をぜひご期待ください。



SIAF2024 ディレクター
小川秀明

この芸術祭のテーマである「LAST SNOW」は、未来に向けた創造と行動を呼びかけるものです。私たちは、ただ未来がやってくるのを待ち、それを受け入れるだけなのか。それとも、これをラストチャンスととらえ、未来に向けて何かを始めることができるのか。アートを通し、未来への問いと行動にあふれた「実験区」を札幌につくり、みなさんと一緒に「はじまりの雪」を体験したいと考えています。

札幌国際芸術祭

Sapporo International Art Festival

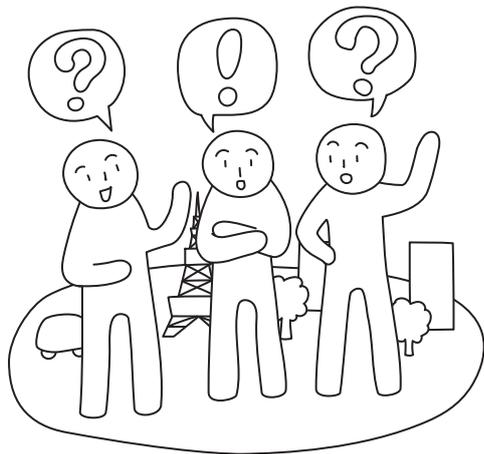
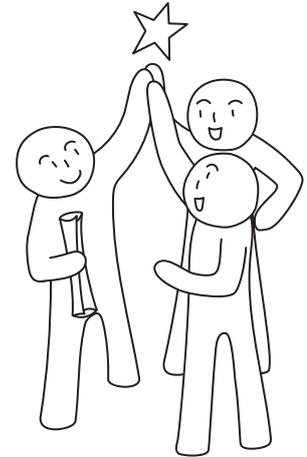
SIAF2024の在り方を示す 「3つのC」と、それを支えるプログラム

Engine for Creativity

創造エンジン=未来志向を生み出す仕掛け

3つの「実験区」で未来志向やイノベーションを触発

さっぽろ雪まつり大通2丁目会場に、幅広い層が楽しめる大型作品を展示し、冬の暮らしや楽しみ方を提案します。モエレ沼公園では未来のスポーツを考えるワークショップを開催。さらに札幌市内の某所に、地下公園の創出を目指します。



Cultural Infrastructure

文化インフラ=未来を垣間見る体験を提供

未来を体験する展示空間「未来劇場」誕生

これまでたくさんの舞台公演が行われてきた東1丁目劇場施設(旧北海道四季劇場)を、巨大な展示空間に転換します。SIAF2024では、この会場を「未来劇場」と呼び、100年後の未来を見つめる体験を生み出します。

発見・体験・学びの場「SIAFスクール」(P4)開校

2023年4月、子どもから大人まで、誰でも参加できるプログラムを立ち上げます。

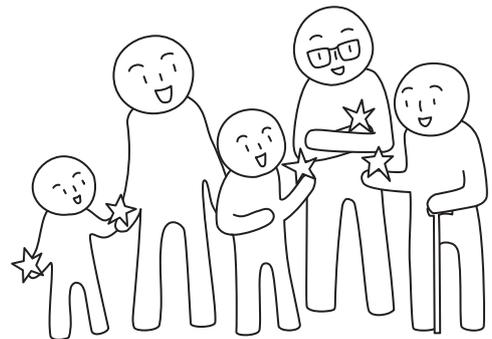
Citizen Participation

市民参加=市民や企業の参画／社会のためのアート

市民も企業も一たさんのコラボレーションでつくりあげる芸術祭へ

「雪=ウパシ」に由来するアイヌ語サブテーマ「ウパシテ」には、「未来に向けて走り出してみる、互いに気づきあってみる」という意味が込められています。この「ウパシテ」をキーワードにした公募プロジェクト「みんなでウパシテ(仮)」を準備中!

公募プロジェクトや「SIAFスクール」を通して、会期前から、市民、組織、企業など、多様な参加者の皆さんと一緒に走り出すようなコラボレーションを立ち上げます。



会場・展示企画

① 未来劇場 (東1丁目劇場施設) 札幌市中央区大通東1丁目

100年後の未来を考える場所

SIAF2024の中心として位置づけられる未来劇場は、来場する皆さんがそれぞれに100年後の未来を捉え、考えてみるきっかけとなるような1つのコミュニティとして出現します。「LAST SNOW」をテーマにした新作や、日本初公開の作品も展示予定です。

アーティスト・プロジェクト：青木美歌、国松希根太、チェ・ウラム、SIAFヒューマノイドプロジェクト(仮)[計数技研/北海道演劇財団/マユンキキ(SIAFアイヌ文化コーディネーター)] 他
企画担当：細川麻沙美(SIAFマネージャー)

② さっぽろ雪まつり 大通2丁目会場

札幌市中央区大通西2丁目

さあ、雪と未来の実験区へ

この会場を「実験区」として、これからの札幌における冬の暮らしや楽しみ方を、アートを介して模索します。幅広い層が楽しめる大型作品や多彩な企画を紹介し、その「実験区」ににぎわいをもたらしめます。

アーティスト：エネス 他
協力：さっぽろ雪まつり実行委員会

③ 札幌文化芸術交流センター SCARTS

札幌市中央区北1条西1丁目

SIAF2024の旅を始める現在地

「LAST SNOW / はじまりの雪」への旅は、ひと・もの・こととの交流拠点のSCARTSからスタートしましょう。SIAFについての情報提供やおすすめルートのご案内などの体験促進とともに、“札幌の今”に関する解説展示や様々なプログラムを展開します。

④ 北海道立近代美術館

札幌市中央区北1条西17丁目

キーワードは「フラジャイル=取扱注意」!?

“Fragile(フラジャイル)”は「取扱注意」を意味し、海外から美術作品が送られてくるとき、運搬者や学芸員に注意を促すため梱包箱に印字される言葉です。もろい、壊れやすいけれども、注意すれば取り扱うことができ、ふたを開けてみればすばらしい何かが発見できるはず。そうした“フラジャイル”のもつ「あやうさと希望」を「LAST SNOW」というテーマに重ね合わせ、1924~2024年の100年にフォーカスした展示を行います。

アーティスト：国松 登、宮田彩加、行武治美 他
企画担当：中村聖司(北海道立近代美術館学芸副館長)



⑤ 市内中心部から約10km モエレ沼公園 札幌市東区モエレ沼公園1-1

「雪×スポーツ×テクノロジー」で未来のスポーツをつくる

モエレ沼公園の広大な雪原を舞台に、新しい冬のスポーツをつくるプロジェクトを実施します。豊かな雪という札幌ならではの地域資源に加えて、テクノロジーやダンス、音楽など、様々な要素を取り込んだ新感覚のスポーツを、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

協力：一般社団法人運動会協会
企画担当：宮井和美(モエレ沼公園学芸員)

⑥ 市内中心部から約15km 札幌芸術の森美術館 札幌市南区芸術の森2丁目75

メディアアートの楽しさ発見!

この会場では、アートやプロダクトの制作、パフォーマンスを縦横無尽に展開してきた芸術ユニット「明和電機」を中心に、メディアアーツ都市である札幌のこれまでとこれからを捉え直す展示を目指します。日本のメディアアートの一端を、包括的に見渡すような展示も予定しています。

アーティスト：明和電機 他
企画担当：佐藤康平(札幌芸術の森美術館事業係長)

? 地下公園 札幌市内某所

SIAF2024の期間中、市内某所の地下に、札幌の冬の未来を考える公園が出現予定です。

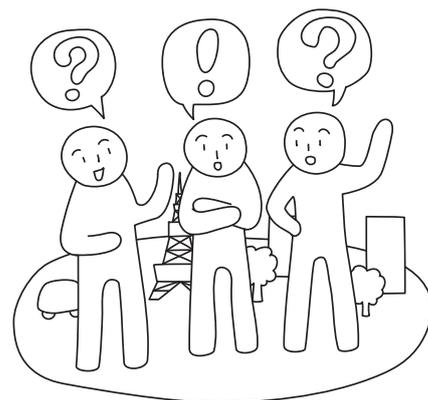
連携：NoMaps...札幌・北海道を舞台に、産官学が連携し、新しい価値を生み出していく大きな枠組みとして2016年よりスタート。テクノロジー・エンタメ・クリエイティブ等に関するフェスを毎年秋に開催。

SIAF2024先行プログラム

SIAFスクール

SIAF2024では、会期前から”新しいアートのかたち”を通じた体験によって、好奇心を掻き立てるような機会や学びの場を創出します。この一連の体験型プログラムの総称が「SIAFスクール」です。SIAF2024が重視している「これからの教育」という観点から、教育機関に関わる方々や小中学校との密な連携、さらに高校生や大学生などの若年層へのアプローチも視野に入れています。

子どもから大人まで、幅広く参加者を募集します。SIAF2024を作り上げていくプロセスに関わることや、SIAFスクールの仕組みそのものが、未来の学校を体験する機会として機能することを目指します。



公開講座



Photo by TAKUMA Noriko

対象
小学生
～一般

LAST SNOWレクチャー

アーティストや専門家から学ぶ公開講座や公開ワークショップを実施予定です。100年後の未来って？アートに限らず身近なテーマを介した問いに、さまざまな専門的見地から一緒に学ぶ場を提供します。

サポート活動



対象
15歳
以上

ふむふむプロジェクト

SIAF2024の会場で実施するボランティア活動に協力して下さる方を対象とした研修プログラム。SIAF2024のおもてなしスペシャリストを目指します。会場の案内や作品を楽しむためのサポートといった、会期中の活動を担うメンバーを募集します。



対象
小中学生

つながる×ひろがる×学校

小中学生を対象に、プログラミングを活用し自分だけの雪の結晶を制作できるアプリケーションなどをアーティストが開発。札幌市内を中心に、アーティスト本人による学校での出張ワークショップや、オンライン上でのアプリケーション体験を実施します。これらの小中学生の創作体験をSIAF2024の会場に生かすことを目指します。

各プログラムの参加者・参加校募集開始は2023年4月以降を予定。詳細は募集開始時に改めてお知らせします。
また、今後プログラムは随時拡大予定です。

企画担当：漆 崇博(SIAFマネージャー)／監修・技術協力：佐藤正範(北海道教育大学)、フジ森(アートユニット)
ふむふむプロジェクト運営：NPO法人 ezorock／企画・運営サポート：SIAF部*

*SIAF部…SIAFの一番近くで、札幌のアートシーンやSIAFを盛り上げるために集まった市民による部活動。
定期的なミーティングやレクチャー、イベント現場での実践を通して、参加者と作品・アーティストをつなぐ役割を担うことを目指している。

SIAF2024先行プログラム 今週開催！2つのトークイベント

2023年2月14日(火) 18:00~18:30

ディレクター &キュレーターオンライン配信トーク SIAF2024全体ビジョン& アーティスト第1弾発表

オンライン配信 (YouTubeライブ)

参加無料・申し込み不要

ライブ配信視聴用URLを公式ウェブサイトでお知らせしています。

<https://siaf.jp/event/talk/p18172/>



Photo by TAKUMA Noriko

ディレクターズトークの様子

SIAF2024ディレクター・小川秀明と、SIAF2024各会場の展示企画担当者が、発表になったばかりの企画内容について詳しく掘り下げる生配信のトークイベント。

スピーカー 小川秀明 (SIAF2024ディレクター)
佐藤康平 (札幌芸術の森美術館事業係長)
中村聖司 (北海道立近代美術館学芸副館長)
宮井和美 (モエレ沼公園学芸員)

2023年2月18日(土) 14:00~16:00

SIAF2024プレイベント

教育喫茶はじめます

～アート・サイエンス・テクノロジー×教育のいま～

会場：さっぽろテレビ塔2階ホール (札幌市中央区大通西1丁目)

参加無料・要事前申込(先着順)

詳細：<https://siaf.jp/event/talk/p18173/>



教育喫茶トライアルの様子

SIAF2024で重視する「教育」をトピックに、「アート」「サイエンス」「テクノロジー」「教育」に関わる幅広い実践紹介を行うとともに、教育や未来について語り合うトークイベント。

第一部：実践発表

出演者(6組)の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

第二部：パネルディスカッション

パネリスト 蛇穴治夫 (北海道教育大学長)
三浦啓子 (北海道教育大学岩見沢校准教授 美術文化専攻)
檜田英樹 (札幌市教育委員会教育長)
小川秀明 (SIAF2024ディレクター)

後援：札幌市教育委員会



ビジュアル

SIAF2024 シンボルマーク

繊細な雪の結晶は、サブテーマ「はじまりの雪」をシンボリックに表しています。このシンボルマークは、本物の雪の結晶を写した数種類の写真を参考に、3Dモデリングで制作したSIAFオリジナルの雪の結晶です。札幌市民にとっては当たり前の存在である雪について、改めて見つめ直すきっかけになるようなシンボルマークです。

SIAF2024での体験を描き出す「^{まる}〇さん

「〇さん」で「まるさん」と読みます。〇さんが表すのは、「皆さん」の姿や体験です。SIAF2024ではどのような体験が参加者を待っているのか、各会場ではどのようなコンセプトを感じられるのか、芸術祭全体の背景にあるアイデアはどのようなもののかなどを描き出します。会期前から会期中にかけて、さまざまな場面で〇さんが登場します。



アートディレクション&デザイン：ワビスabi・白井宏昭

〇さん：小川絵美子

雪の結晶

監修：古川義純(中谷宇吉郎雪の科学館館長/北海道大学名誉教授)

3Dモデリング：有限会社ノチウ



札幌国際芸術祭2024 開催概要

名称	札幌国際芸術祭2024 (日本語) Sapporo International Art Festival 2024 (英語) ウサ モシリ ウン アシカイ ウタラ サッポロ オッタ ウエカッパ Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa 2024 (アイヌ語)
テーマ	ラスト スノー LAST SNOW
サブテーマ	はじまりの雪(日本語) / Where the Future Begins (英語) / Upaste (アイヌ語) ウパステ
ディレクター	小川 秀明(アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表/アーティスト)
会期	2024年1月20日(土)～2月25日(日) ※一部会場は会期が異なります
イニシアティブ・パートナー	株式会社良品計画、株式会社ワコム、大日本印刷株式会社、パノラマティクス、『WIRED』日本版(五十音順)
主催	札幌国際芸術祭実行委員会/札幌市

お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 担当:小林・佐藤

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階

Tel:011-211-2314(平日 8:45~17:15) | Fax:011-218-5154 | E-mail:press@siaf.jp

札幌国際芸術祭

Sapporo International Art Festival